

天声人語

ドリル

問題

47

Uターンの季節に

天声人語

① 混み合った新幹線に乗り、東京に戻った。車窓から雪景色が失われるあたりで、都会暮らしを始めた頃のことを思い出します。Uターンとは、かつての上京の体験を心でなぞることでもあると、帰省のたびに感じる▼胸を膨らませながらであったり何となくであったり。上京の時の思いは人それぞれであろう。自分の可能性を東京に託そうとしたのが宮沢賢治だったと、書評家岡崎武志さんの『上京する文學』で読んだ。定住こそしなかったが、長くはない生涯に9度、賢治は東京の地を踏んでいる▼東北本線での片道が、十数時間かかった時代である。その列車のイメージも『銀河鉄道の夜』に投影されているのではないかと、岡崎さんは書いている。銀河鉄道

のモデルは右手の小さなローカル線。そんな定説を踏まえたくので、大胆な仮説である▼「長時間の鉄道旅において、読書したり、眠ったりした時間もあつたろうが、賢治のことだから、さまざまな幻想にひたる時間もあつたに違いない」。ふるさと花巻をイーハトーブという理想郷にしたいという思いも、行き交っただろうか▼上京と帰郷。それを賢治よりもたくさん繰り返すのが、現代の帰省者たちである。2時間や3時間の旅であっても、いつもと違う思いに浸ることはできる。ふるさとに置いてきたものの大きさ。ふるさとでまったく違う人生がありえた可能性。感傷が過ぎるか▼きょうが最後のお休みという方も多いだろう。また始まる日常を少し違う目で見てみたい。

2020・1・5

用語説明

- *車窓 列車、自動車などの窓。
- *Uターン 地方から都市部へ移住した者が再び生まれた土地に戻る現象。
- *上京 東京へ行くこと。
- *なぞる 再現する。
- *胸を膨らませながら 期待や希望で胸がいっぱいになりながら。
- *託そう 任せよう。
- *宮沢賢治 詩人・童話作家。
- *書評家 出版された書物を読者に紹介する文を書く人。
- *定住 一定の場所に住むこと。
- *投影 他の影響が現れ出ること。
- *ローカル線 輸送量の少ない鉄道路線。「ローカル」は「地方」などの意。
- *定説 一般に認められた説。
- *大胆 思い切りよくすること。
- *仮説 説明のため仮に立てた説。
- *幻想 空想。思い描いたこと。
- *イーハトーブ 宮沢賢治の心の中にある理想郷。賢治の造語。



JR山形駅から東京行きの新幹線に乗り込む人たち。

1 次の意味や説明を表す言葉を本文中から探して書きましょう。

㊦ ふるさとに帰りたい

㊧ 物事に感じやすい心の傾向

2 ①「混み合った新幹線に乗り、東京に戻った」筆者は、列車の中で何をしていますか。簡単に説明しましょう。

3 ②「賢治は東京の地を踏んでいる」とき、宮沢賢治はどういう目的があったと、岡崎武志さんは考えていますか。本文中から16字で書き抜きましょう。

4 ③「大胆な仮説」の内容を、簡単に説明しましょう。

5 ④「いつもと違う思い」の例として、筆者はどのようなものを考えていますか、50字程度でまとめましょう。

1	10点×2 =20点
2	20点
3	10点
4	20点
5	30点
合計	
	100点

天声人語

① 混み合った新幹線に乗り、東京に戻った。車窓から雪景色が失われるあたりで、都会暮らしを始めた頃のことを思い出します。Uターンとは、かつての上京の体験を心でなぞることでもあると、帰省のたびに感じる▼胸を膨らませながらであったり何となくであったり。上京の時の思いは人それぞれであろう。自分の可能性を東京に託そうとしたのが宮沢賢治だったと、書評家岡崎武志さんの『上京する文學』で読んだ。定住こそしなかったが、長くはない生涯に9度、賢治は東京の地を踏んでいる▼東北本線での片道が、十数時間かかった時代である。その列車のイメージも『銀河鉄道の夜』に投影されているのではないかと、岡崎さんは書いている。銀河鉄道

のモデルは右手の小さなローカル線。そんな定説を踏まえたくえでの、大胆な仮説である▼「長時間の鉄道旅において、読書したり、眠ったりした時間もあつたろうが、賢治のことだから、さまざまな幻想にひたる時間もあつたに違いない」。ふるさと花巻をイーハトーブという理想郷にしたいという思いも、行き交っただろうか▼上京と帰郷。それを賢治よりもたくさん繰り返すのが、現代の帰省者たちである。2時間や3時間の旅であっても、④ つもと違う思いに浸ることはできる。ふるさとに置いてきたものの大きさ。ふるさとでまったく違う人生がありえた可能性。感傷が過ぎるか▼きょうが最後のお休みという方も多いだろう。また始まる日常を少し違う目で見てみたい。

2020・1・5

解答解説

- 1 辞書でも意味を確認しておきましょう。
- 2 第1段落の内容から、筆者の心情を読み取ることが出来ます。「都会暮らしを始めた頃のことを思い出していることが読み取れます。
- 3 「東京の地を踏んでいる」ときの賢治について、岡崎武志さんがどのように考えているか、第2〜4段落から読み取ることが出来ます。第2段落からは「自分の可能性を東京に託そうとした」と考えていることがわかります。
- 4 「大胆な仮説」の内容をとらえるために、「定説」の内容も理解しておきましょう。「定説」とは第3段落の「銀河鉄道のモデルは右手の小

きなローカル線」であるという説です。書評家の岡崎武志さんは、宮沢賢治の東北本線での旅に注目し、東北本線の「その列車のイメージも……ではないか」と考えています。

5 「いつもと違う思い」について、第5段落の「ふるさとに置いてきたものの大きさ……可能性」から、上京して生活している今とはまったく違う人生について想像してみる姿を読み取ることが出来ます。

1 次の意味や説明を表す言葉を本文中から探して書きましょう。

㊦ ふるさとに帰る

帰省

㊧ 物事に感じやすい心の傾向

感傷

2 ①「混み合った新幹線に乗り、東京に戻った」筆者は、列車の中で何をしていますか。簡単に説明しましょう。

(例) 都会暮らしを始めた頃のことを思い出している。

3 ②「賢治は東京の地を踏んでいる」とき、宮沢賢治はどういう目的があったと、岡崎武志さんは考えていますか。本文中から16字で書き抜きましょう。

自分の可能性を東京に託そうとした

4 ③「大胆な仮説」の内容を、簡単に説明しましょう。

(例) 東北本線の列車のイメージが、『銀河鉄道の夜』に投影されているのではないかと、い仮説。

5 ④「いつもと違う思い」の例として、筆者はどのようなものを考えていますか、50字程度でまとめましょう。

(例) 上京することなくふるさとで生きていたら、今とはまったく違う人生があったのではないかという思い。(47字)